

驚異の三人!!

Three Masters of Contemporary Art:

高松次郎

TAKAMATSU Jiro,

若林奮

WAKABAYASHI Isamu, and

李禹煥

LEE Ufan

版という場所で

2020年

4・18〔土〕ー6・7〔日〕

世田谷美術館

Setagaya Art Museum

\*会期中一部展示替えを行います。前期は4月18日(土)

ー5月10日(日)、後期は5月12日(火)ー6月7日(日)

主催は世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)、

読売新聞社、美術館連絡協議会

後援は世田谷区、世田谷区教育委員会

協賛はライオン、大日本印刷、

損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

協力はシロタ画廊、Yumiko Chiba Associates、

WAKABAYASHI STUDIO

開館時間は午前10時ー午後6時(入場は午後5時30分まで)  
休館日は毎週月曜日\*ただし、5月4日(月・祝)は開館。

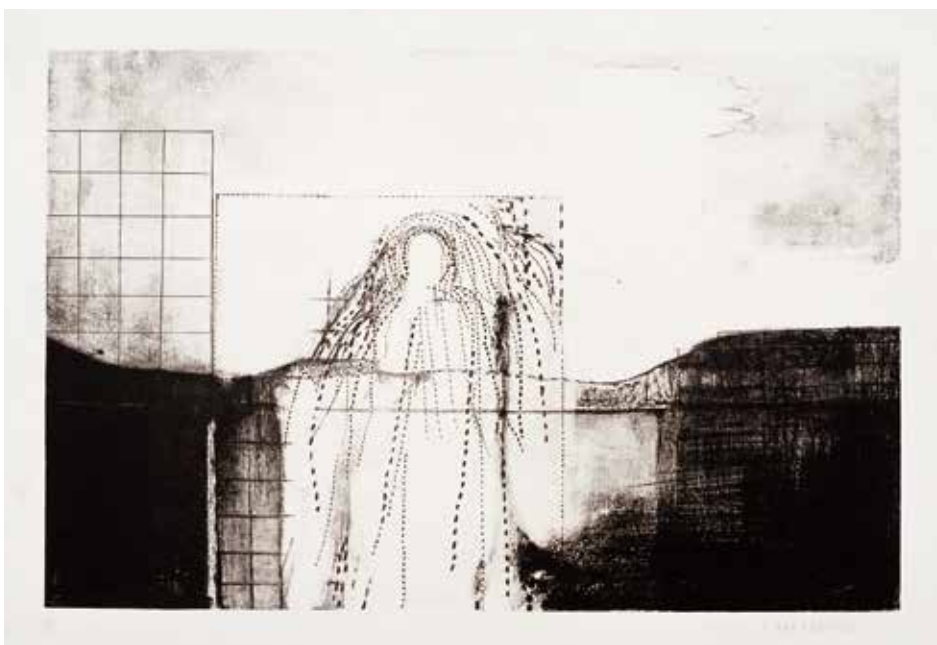
5月7日(木)は休館。

展覧会のご案内は050・5541・8600(六ローダイヤル)

世田谷美術館 〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

TEL 03-3415-6011(代表)

www.setagayaartmuseum.or.jp



驚異の三人!!

Three Masters of Contemporary Art:  
TAKAMATSU Jiro, WAKABAYASHI Isamu, and LEE Ufan

# 高松次郎・若林奮・李禹煥 版という場所で



①



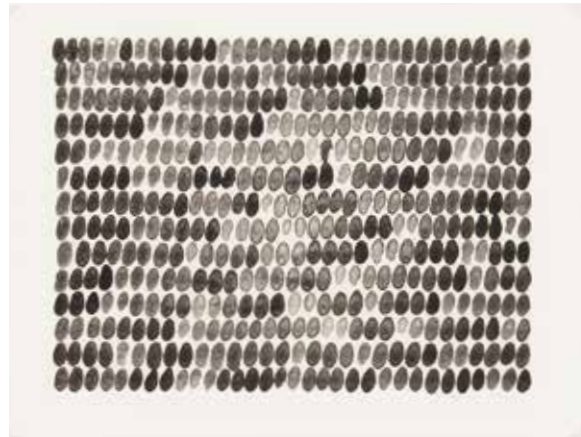
③



②



④



⑤



⑥

日本の現代美術を語るうえで常に重要な位置を占める、高松次郎(1936-1998)、若林奮(1936-2003)、李禹煥(1936-)。

三人とも立体と平面という境界を跨いで旺盛に作品を制作・発表しています。そのなかでも、1970年代以降、積極的に「版」による表現に取り組んでいることは注目に値するでしょう。

高松次郎は1980年代末にスクリーンプリントによる連作に取り組みました。版の重ね合わせやインクの色を変え、そこから生まれる形を確認していく作業は、同時期の油彩作品の制作と関連したものを見ることができます。若林奮は金属による彫刻とともに版画も数多く制作してきました。そのなかには、彫刻作品の一部分である線刻を施した銅板を版画作品の版としたものもあり、従来からの版画という枠組みにとらわれずに制作していたことが窺えます。李禹煥は今なお継続的に版画を手掛けて発表しています。絵画よりも自分と距離を置くことができ、他者性が入るメディアである版画を中間項と考え、そこで試みたものを絵画に移そうとしている——とも語っています。

このように見ていくと、それぞれが「版」を媒介とすることで、制作についての思索を深化させていったともいえるかもしれません。三人の創造の軌跡を再考する機会ともなる「版」の世界を、お楽しみください。

## 【関連企画】

◎対談 李禹煥(美術家) × 酒井忠康(世田谷美術館館長)

世界各国で大規模な個展を開催し続けている李禹煥氏に、近年の活動や考えていることについてお話しいただきます。

日 時:2020年4月18日(土)  
午後2時～午後3時30分(開場は午後1時30分)

会 場:当館講堂  
定 員:当日先着140名

\*当日午後1時よりエントランス・ホールにて整理券を配布。  
参加費:無料 手話通訳つき

◎講演会「著作を読む」

三人の作家それぞれが書き記した言葉を追いつつ、作品に込められた創作の思考を読み解いていきます。

第1回:李禹煥を読む

講 師:三本松倫代(神奈川県立近代美術館学芸員)  
日 時:2020年5月17日(日) 午後3時～午後4時30分

第2回:若林奮を読む

講 師:山田志麻子(うらわ美術館学芸員)  
日 時:2020年5月24日(日) 午後3時～午後4時30分

第3回:高松次郎を読む

講 師:神山亮子(府中市美術館学芸員)  
日 時:2020年5月31日(日) 午後3時～午後4時30分

各回とも

会 場:当館講堂

定 員:当日先着140名 \*当日午後1時よりエントランス・ホールにて整理券を配布。開場は午後2時30分

参加費:無料 手話通訳つき

◎鑑賞ワークショップ「見る、話す。」

展示室で作品を前に、見たこと感じたことを言葉に表しながらグループで鑑賞します。

日 時:2020年5月8日(金) ①:午前10時30分～午後0時30分  
②:午後2時30分～午後4時30分 参加方法:各回とも事前申込、詳細は当館HPをご覧ください。

◎100円ワークショップ

どなたでもその場で気軽に参加できる工作など。

日 時:会期中の毎土曜日 午後1時～午後3時  
会 場:当館地下創作室

参加方法:時間中随時受付  
参加費:1回100円

## 【観覧料】

一般1000(800)円、65歳以上800(600)円、大高生800(600)円、中小生500(300)円 \* ( )内は20名以上の団体料金。 \* 障害者の方は500円。ただし、小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。 \* リピーター割引:会期中、本展有料チケットの半券をご提示いただくと、2回目以降は団体料金にてご覧いただけます。

【次回展覧会】「ミュージアムコレクション特別篇 グローバル化時代の現代美術——“セタビ”のコレクションで楽しむ世界旅行」 2020年7月4日(土)～8月16日(日)

【同時開催】ミュージアムコレクションⅠ  
「気になる、こんどの収蔵品——作品がふつてきた物語」  
2020年4月25日(土)～6月14日(日)

世田谷美術館  
Setagaya Art Museum

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 Tel.03-3415-6011(代表)  
展覧会のご案内:050-5541-8600(ハローダイヤル)  
www.setagayaartmuseum.or.jp

## 交通案内

・東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分  
・小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分  
・小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分  
・来館者専用駐車場(60台、無料):東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

